
幸せの郵便局

十七番

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸せの郵便局

【著者名】

ZZマーク

【作者名】 十七番

【あらすじ】
退屈そうな少年、魁の幸せなのか不幸な物語が始まる・・・

始まり（前書き）

梓「一緒に帰るー。」

と言われて、仕方なく歩みを進めた魁。

始まり

「でもあります。商店街……

魁と梓はその一本道を通る。

さまざまな人の声が聞こえる。

魁（五月蠅い……黙るといつこと知らないのか？）

いつむきながらそう考える魁。

梓「前見る！」

突然の蹴りが背中に叩き込まれる。

苦痛に顔をしかめる魁。

梓「もうちょっと楽しく出来ないの？女子と一緒になんだい？」

さつき蹴ったとは微塵にも感じさせない笑顔を見せる。

それでも魁は、無愛想な顔で返し、自分の家へと足を進めた。

梓「待つよ～」

梓が追いかける。

魁（本当になんだこいつ？自分とかかわって利益があるのか？）

他人A 「危ない！」

不意の声。

後ろでダンボールの棚が倒れてきた。

梓「えつ？」

梓はあまりに突然の出来事に動くことが出来ない。

魁は梓をつかみ後ろに投げた。

そして、かばんを振り上げ、

一気に振り下ろした。

魁「…………たるい」

ダンボールは一人を避けるように広がった。

魁は梓を見ず、再び歩き出した。

始まり（後書き）

面白かったと思われる幸いです。

一緒に帰るー（前書き）

梓「一緒に帰るー。」

と言われて、仕方なく歩みを進めた魁。

一緒に帰る！

「でもありそつた商店街……

魁と梓はその一本道を通る

さまざま人の声が聞こえる。

魁（五月蠅い……黙るといつこと知らないのか？）

いつむきながらそう考える魁。

梓「前見る！」

突然の蹴りが背中に叩き込まれる。

苦痛に顔をしかめる魁。

梓「もうちょっと楽しく出来ないの？女子と一緒になんだい？」

さつき蹴ったとは微塵にも感じさせない笑顔を見せる。

それでも魁は、無愛想な顔で返し、自分の家へと足を進めた。

梓「待つてよ～」

梓が追いかける。

魁（本当になんだこいつ？自分とかかわって利益があるのか？）

他人A 「危ない！」

不意の声。

後ろでダンボールの棚が倒れてきた。

梓「えつ？」

梓はあまりに突然の出来事に動くことが出来ない。

魁は梓をつかみ後ろに投げた。

そして、かばんを振り上げ、

一気に振り下ろした。

魁「…………たるい」

ダンボールは一人を避けるように広がった。

魁は梓を見ず、再び歩き出した。

一緒に編む！（後書き）

面白かったと思われる幸いです。

関わるな

今日はあこでてのじや降りの雪。

しかし、魁にとつては

晴れだらうと雪だらうと関係ない。

魁「・・・」

無言で自分の席に着く魁。

生徒の話し声が聞こえてくる。

生徒A「おこ、あこつまた来てるぜ？」

生徒B「何しに来るんだ？全く・・・話しかけるなオーラもびんびん出でるし」

これでいい。

魁は心の中をひきぶかく。

しかし・・・・・・

世の中やつは行かない。

梓「いやつはおーーーみんなおはよーーー」

雨の朝にもハイテンションで梓がやつてきた。

梓はクラスの人気者と言つてもいい存在だ。

魁「…………」

魁は外を眺める。

梓「いよっす！魁！」

魁「…………！」

魁は凄い驚いた。

梓がいきなり話しかけてきたのだ。

梓「なにしてんのや～もつちよつと明るくや～

すると、梓はハッとしたような顔をすると、

梓「そ～そ～！昨日はアリガト～いや～いつもならあんなダンボール楽勝なんだけど、

ビックリしてね～動けなかつたんだよ～」

魁「…………るな。」

梓「え？」

魁「関わるな。一切な。俺と一緒にいるとお前もいつか…………」

ガラツと魁は席を立つ。

梓「なんで！？」

梓は去つていく魁の背中を見ながら何かを考えるそぶりを見せた。

梓「魁があ・・・ハハツ仲間にしようか！」

スカウト... (前書き)

スカウトしに・・・

魁

ただ白いだけの廊下。

たが、その中にも汚れはある。

どれにもた

秋北高校……………そこは二つの校舎がある。

——は 魁や梓かしるAソーン

もう一つは不良の溜まり場ゾーン

たか不思議はアソーンにせいでわざと悪をすると

しかし一部の教派はソレを止めよとはしない

山の日記

不良A一ハハハハ！！死ねエテア！」

不良B 一 こいせあ！ 井やハハハ！ 」

Aゾーンで不良がケンカを始めた。

だが、魁には関係の無いこと。

廊下をまっすぐ歩く。

一人の不良が魁にきついた。

不良の「オイ。お前ゾーンのやつだろ?」痛くしてやるから一発殴らせろや。」

だが、魁は目を合わせない。

どうでもいい奴とは関わりたくないからだ。

不良はそれにイライラしたらしく、

不良○ - 無視すんなやあ！」

殴りかかってきた

ノンノ

鬼
牙魔

愛に止めたの。た

不虞○ - ! ? 『 』 異也 !

魁　…………無理。お前らは俺の邪魔した。それらしい礼は
してもいい。」「

魁は傷一つ無く歩く。

梓 「ねえ

ピクウ！！

梓「アハハハハ！魁つてこういうの弱いんだ！意外！」

魁

むすことした顔で桜を見る魁

梓一『何?』て聞きたいんでしょう?教えてあける・・・私はあなたを・・・・

少し溜め魁に指差し

梓、私はあなたをスカウトしに来たの！我が創立される部活にね！」

魁（ハア？）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4667j/>

幸せの郵便局

2010年12月10日02時36分発行